

メニエル氏病・低音障害型感音性難聴



メニエル氏病は、難聴、耳鳴り、めまいを症状とする病気で、「内耳」の中にあるリンパ液の圧力が上がって起こります。めまいを伴わないものを特に低音障害型感音性難聴といいますが、原因は同じと考えられています。

内耳は、音を感じる「蝸牛」と、バランスを感じる「三半規管」とからなります。蝸牛が障害される(低音障害型感音性難聴)と、「難聴」「耳のつまり感」「耳鳴り」がおこります。

三半規管も障害される(メニエル氏病)と、さらに「めまい」がおこります。

メニエル病の原因はわかりませんが、増悪因子はよく知られています。

1. 睡眠不足
2. ストレス（精神的なもの、身体的なもの両方）
3. お酒

などで悪化することが知られています。

約半数の人は 1-2 週間の治療でよくなりますが、3 割くらいの患者さんは増悪軽快を繰り返すことがあり、残りの 2 割くらいの患者さんでは難治性で症状が固定してしまう場合があります。

メニエル氏病の診断

メニエル氏病と診断するには、聴力検査、眼振検査（目の動きをみる検査）が必要です。

聴力検査では低音域の聴力が下がるのが特徴的で、経過とともに変動します。

メニエル病によく似た病気に、内耳梅毒、突発性難聴、外リンパ瘻、前庭神経炎、聴神経腫瘍などがあり、これらが疑われるときは血液検査や頭部 MRI などの詳しい検査が必要な場合があります。

メニエルの一般的な治療法は？

薬による治療が主です。

治療はなるべく早期に行わないと改善率は悪くなります。

主に下記のような薬が使われます。

1. ビタミン B12(コメスゲン)、ATP 製剤（アデホス）、メリスロン
：神経、内耳への血流を改善する薬
2. イソバド：内耳のリンパ液の圧力を下げる利尿剤
3. ステロイド剤：一旦下がってしまった聴力や平衡感覚を改善させます

メニエル氏病・低音障害型感音性難聴



メニエル氏病は、難聴、耳鳴り、めまいを症状とする病気で、「内耳」の中にあるリンパ液の圧力が上がって起こります。めまいを伴わないものを特に低音障害型感音性難聴といいますが、原因は同じと考えられています。

内耳は、音を感じる「蝸牛」と、バランスを感じる「三半規管」とからなります。蝸牛が障害される(低音障害型感音性難聴)と、「難聴」「耳のつまり感」「耳鳴り」がおこります。

三半規管も障害される(メニエル氏病)と、さらに「めまい」がおこります。

メニエル病の原因はわかっていませんが、増悪因子はよく知られています。

1. 睡眠不足
2. ストレス（精神的なもの、身体的なもの両方）
3. お酒

などで悪化することが知られています。

約半数の人は 1-2 週間の治療でよくなりますが、3 割くらいの患者さんは増悪軽快を繰り返すことがあり、残りの 2 割くらいの患者さんでは難治性で症状が固定してしまう場合があります。

メニエル氏病の診断

メニエル氏病と診断するには、聴力検査、眼振検査（目の動きをみる検査）が必要です。

聴力検査では低音域の聴力が下がるのが特徴的で、経過とともに変動します。

メニエル病によく似た病気に、内耳梅毒、突発性難聴、外リンパ瘻、前庭神経炎、聴神経腫瘍などがあり、これらが疑われるときは血液検査や頭部 MRI などの詳しい検査が必要な場合があります。

メニエルの一般的な治療法は？

薬による治療が主です。

治療はなるべく早期に行わないと改善率は悪くなります。

主に下記のような薬が使われます。

1. ビタミン B12(コメスゲン)、ATP 製剤（アデホス）、メリスロン
：神経、内耳への血流を改善する薬
2. イソバド：内耳のリンパ液の圧力を下げる利尿剤
3. ステロイド剤：一旦下がってしまった聴力や平衡感覚を改善させます